11月・12月初めの行事予定

一11月一

- 26日(火)4年社会科見学
- 1日(金)練馬区教育課題研究指定校発表 27日(水)クリーン運動(5校時) 健康の日
- 3日(日)文化の日 地区祭(石東小)
- 29日(金)展覧会 保護者鑑賞 15:00~17:00
- 5日(火)委員会活動 美化日
- 30日(土)展覧会 4時間授業
- 6日(水)避難訓練 6年生起震車体験
- 保護者鑑賞 10:30~17:00
- 7日(木)就学時健診(3時間授業 給食あり)

一12月一

- 8日(金)縄跳び指導(PTA主催)
- 9日(土)学校公開日⑤(4時間授業) 2日(月)振替休業日 音楽鑑賞教室
 - 3日(火) 4時間授業 個人面談①

11日(月)クラブ活動

- 14日(木)5年情報モラル講習会
- 4日(水)4時間授業(区一斉研究会) 美化日
- 15日(金)全校遠足(弁当持参)
- 5日(木) 4時間授業 個人面談② 安全指導
- 18日(月)クラブ活動なし
- 19日(火)校区別協議会 4時間授業 6日(金)4時間授業 個人面談③
- 22日(金)全校遠足予備日 読書旬間始
- 健康の日 読書旬間終

校内研究について

研究主任 村上美予子

1日の練馬区教育委員会教育課題研究指定校の研究発表会には、268名ものご参観をい ただき、無事に発表を終えることができました。ご参観ありがとうございました。ご意見ご 感想をいただきましたが、「どの学級の子も、書くことに自信をもち、一生懸命取り組む姿 が見られました。」「活気ある子供たち。学習態度や発表の様子等、立派でした。」など、 お褒めの言葉をたくさんいただきました。また、「保護者の方の案内がとても親切でうれし かったです。」という感想も寄せられました。お忙しい中、お手伝いをしてくださった保護 者の皆様、本当にありがとうございました。

昨年度より、国語科の「書くこと」の領域に研究の重点を置き、元国立音楽大学教授の田 中延男先生のご指導の下、研究に取り組んでまいりました。子供たちの書くことへの意欲の 向上や書く力の向上は目に見え、この2年間でずいぶん上達したと実感しています。

一般的に、10歳ぐらいまでに身に付いた言葉は、大人になってもものを考えるときに使 う言語になると言われています。ですから、「書くこと」の指導は、子供たちの将来に関わ る大事な指導でもあると考えます。子供たちがこの2年間で学んだ「書くこと」を、今後の 学習や生活に生かしていけることを願っています。

14日(木)情報モラル教室へお越しください r5校時 13:25~

└6校時 14:15~

私たちを取り巻く情報の環境は、驚くべき速さで変容しています。児童を含め、私たちも 新たな環境を理解して対処していく必要に迫られています。

この情報モラル教室は、練馬区の事業として毎年5年生が受講しています。5校時に5年 生が受講し、6校時は保護者向けの教室となっています。

保護者向けの内容は、子をもつ親として知っておきたい情報機器をめぐる状況や対処につ いて具体的なものです。また、質疑もありますので、日頃の疑問も多くが解消できます。

しかし、ご多忙のためか保護者の皆様のご参加が毎年少なく、残念です。もっと多くの方 に参加いただき、わが子のみならずわが子を取り巻く子達にまでガードを広げたいです。

ご参加は、5校時(5年生向けの教室)から可能です。6校時は、保護者の皆様向けの教 室(5年生はいません)です。6校時からの参加もできます。ご参加の際の申し込みは不要 です。お時間をつくっていただき、ご来校ください。お待ちしております。

なわとび教室

校舎の改築にともない校庭が狭くなる中で、運動量を確保し体力を伸ばすことが谷原小学 校の課題の一つです。そこで、なわとびなど限られたスペースを活用してできる運動を取り 入れていくことで、体力を伸ばそうとしてきました。

今年度は Р Т А 学級委員の皆様のご尽力で講師の先生をお招きし、各学年ごとに 1 時間の 指導をしてくださることになりました。

講師は、なわとび小助の生山ヒジキさんです。アジア選手権連覇、世界選手権上位入賞な どアジア最強なわとびチーム筑波跳職の一員です。当日は、各学年の発達段階に応じた指導 と児童が目標とする技の披露、そしてプロならではの華麗な技を見せてくれるそうです。

これを機会に、児童のなわとびが活発になり、一人一人の体力の向上に結びつくことを願 っています。学校でもなわとびを奨励し、一人一人に励ましの言葉をかけていきますので、 ご家庭でも上達を認めて励ましてください。

読書旬間が始まります

22日(金)から12月6日(金)まで、読書旬間として親子読書や福田先生のブックト - クなどの取り組みを行います。これらを通して、児童の読書活動を活発ににし、本に親し むとともに優れた表現や語彙の習得につなげたいと考えます。ご家庭でも、児童の読書環境 の整備と親子読書にご協力くださるようお願いします。